



◆学校施設の耐震化

屋内運動場5棟の耐震設計が11月末に完了し、補強工事の入札が本年1月末に終了しましたので、平成25年度中の完成に向けて取り組みます。

また、10棟の耐震設計については、本年7月に完了の予定です。

さらに、14棟の耐震補強設計費および1棟の耐力度調査費を前倒しし、24年度3月補正予算として計上するとともに、平成25年度当初予算では5棟の工事費を計上しました。

◆体育行政

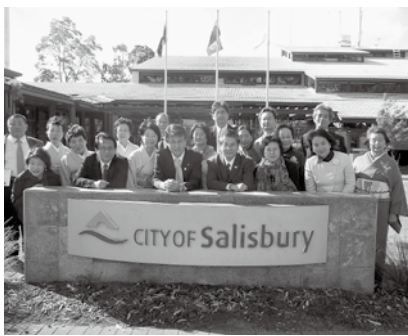
子どもから高齢者まで「市民一人一スポーツ」を目指して、さらなるスポーツ環境の整備を推進するため、平成25年度からスポーツ推進計画の策定に取り組んでまいります。

◆国際交流

姉妹都市提携から10周年を

迎えた昨年10月、訪問団を結成してオーストラリアのソルズベリー市を訪れ、両市間の絆を改めて確認いたしました。

本年4月には、震災以降中断していたティンデルクリスチャンスクールの生徒および教員の訪問が予定されていることから、教育、文化、スポーツなどの各分野における交流を引き続き実施します。



▲昨秋、ソルズベリー市を訪れた訪問団



◆地域福祉

平成25年度から29年度までを計画期間とする、第二次茂原市地域福祉計画を本年3月

に策定し、地域における福祉サービスの適切な利用の推進や、社会福祉を目的とする事業の健全な発展、地域福祉活動への市民参加の促進など、官民一体となった活動の体制づくりを進めます。

◆障害者福祉

現行の「障害者自立支援法」が一部改正され、平成25年度から「障害者総合支援法」の施行により、新たに難病患者等も障害者手帳の有無に関係なく、必要と認められた障害福祉サービスを利用できることになりました。

また、4月から、障害の除去軽減を目的とした「育成医療事務」が県から市へ権限移譲されることに伴い、身体に障害のある児童、または放置すると将来障害を残すと認められる疾患がある、18歳未満の児童に対する医療費の一部公費負担を行います。

さらに平成25年度の新規事業として、「軽度・中等度難聴児補聴器購入費助成事業」を実施することとし、従来身体障害者手帳も交付されず、補装具費支給制度の対象とならなかった軽度・中等度

難聴の18歳未満の児童に対しても、補聴器の一部公費負担を行い、健全な言語の習得および社会性の発達を支援します。

◆高齢者福祉

第5期介護保険事業計画に基づき、地域密着型介護老人福祉施設の定員増を行うため、公募および審査等を経て、新規施設整備を行う事業者、社会福祉法人長生共楽園、既存施設の増床を行う事業者、社会福祉法人たむかひを、それぞれ選定し整備を進めており、両者とも年内に開設する予定となっております。

また、新たに小規模多機能型居宅介護施設等の設置のため、

め、事業者をプロポーザル方式により公募し、整備を進めます。

◆子育て支援

新たに「子ども・子育て支援法」が平成24年8月に公布され、認定子ども園、幼稚園、保育所を通じた質の高い幼児期の学校教育・保育の提供や、地域の子ども・子育て支援の充実を図るため、「市町村子ども・子育て支援事業計画」を平成26年度半ばまでに策定することが義務化されました。

本市では、計画の策定に向けて「茂原市子ども・子育て審議会」を平成25年度に設置し、ニーズ調査を実施するな

平成25年度 主要事業と予算額

○教育文化

学習機会の充実	
・駅前学習プラザ施設維持管理費	3,217万円
教育環境の整備	
・奨学資金貸付費	8,195万円
・小学校管理運営費（うち新治小学校講師配置事業）	314万円
・小中学校施設整備事業（耐震補強工事等）	7億8,159万円
教育内容の充実	
・小中学校管理運営費（うちELT活用等）	2,643万円
・小中学校教育振興運営費（うち教職員研修・研究、パソコン指導の充実）	3,141万円
特別支援教育の充実	
・小中学校特別支援教育支援員活用事業	756万円
・幼稚園特別支援教育支援員活用事業	108万円
・緊急雇用創出事業（小中学校特別支援教育支援員活用事業）	1,476万円
学校給食の充実	
・学校給食委託費（うち東郷・茂原・鶴枝小学校・五郷幼稚園給食業務民間委託）	6,486万円
伝統・文化の維持継承	
・市史編纂事業	50万円

※下線は新規事業。1万円単位で端数処理しています。